

海老名市立東柏ケ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第4回)

- 1 日時 令和5年9月4日(月) 15:30～
- 2 場所 海老名市立東柏ケ谷小学校 ランチルーム
- 3 出席委員 芳賀敬子委員長, 佐藤充明副委員長, 長井徹委員, 柳下泰介委員, 瀬戸口壮委員, 小池一美委員, 守谷美子委員, 工藤真委員, 國吉聖委員, 小山内清潤委員, 高橋典嗣委員, 海野望委員, 小林丈記校長

4 会議の内容

(1) はじめに

芳賀委員長： いよいよ2学期が始まった。大きな事故なくスタートできてよかった。親子防犯パトロールも続けていきたい。これからも子どもたちの安心安全を守っていきたい。今回は子どもたちが参加してくれて、子どもたちの声や子どもたちに寄り添うことは大事だと感じた。議題の中にいじめ防止基本方針が入っている。子どもたちの健やかな成長を見守っていきたい。

(2) 学校長より

小林校長： 2学期もよろしくお願ひします。2学期が始まって一週間たった。始業式にはとてもよい表情で登校していた。夏休みの間には、地域の方に支えていただき感謝申し上げます。始業式には「学校施設の話」「マイチャレンジ」「50周年の準備」の3つの話をした。「学校施設の話」では、空調が修理されたこと、冷水機が設置されたこと、全館LED照明に変わったことの話をした。「50周年の準備」では、スローガンを決めていくこと、マスコットキャラクターを考えていくことを話した。「マイチャレンジ」では、目標をもってチャレンジすることを話した。また、大きな成果を上げるためには仲間が必要だと話した。2学期には行事が多くあり、一つ一つの取り組みを通して子どもの学び、育ちを私たちが大切にしていきたい。また始業式には柳下さんに参加していただき、ビオトープの話をしていただいた。

(3) あいさつ運動について

・児童会の年間活動の見直し

植木教諭：子どもたちと廊下ですれ違ってもあいさつが返ってこない現状がある。あいさつ運動の取り組みを通して、あいさつをするよさを感じてもらいたい。定期的に活動を振り返ったり、新たに自己目標を設定したり、児童の主体的な取り組みやあいさつの定着につなげたい。

小林校長：あいさつ運動の日を設定したい。ビブス Day が毎月 1 日に行われるのと同時にあいさつ運動を行えたらと思う。その点も踏まえてご協議いただきたい。

【協議：あいさつで心をつなげるために、地域としてできること】

佐々木教諭：毎月 1 日でよいと思う。言い方が曖昧になっているのではないかと感じ、まずは練習から始めていくのはどうか。

奥田教頭：各自治会の子ども数の話になった。4・5丁目は 100 名程度で、ルアンジュは現在 9 名しかいない。顔見知りになるのはとても大事だと感じる。あいさつバッチやビブスなど子どもたちが目で見てわかるようにするとあいさつもしやすくなるのではないと思う。地域としては回覧などをおして、周知できればよい。

三村総括教諭：ビブスデーは継続して行う必要がある。学校でも呼び掛けていきたい。大人同士のあいさつも子どもたちは見ている。大人たちが率先してあいさつする姿を見せることが大切。家庭でもあいさつを行ってもらえるように声かけをしていきたい。

佐藤副委員長：1 日のビブスデーだけでなく、毎月 1 のつく日にやるのはどうか。また学校行事の際に行うのはどうかと思う。

國吉委員：子どもたちが学校で行っていることを周知することが必要なのではないか。あいさつができない子はなにか心の面でケアが必要なのかときづくきっかけにもなる。家庭でもあいさつをこころがけてもらえるようにするとよい。

小林校長：10/1 は週休日のため、10/2 に行う。ご協力お願いいたします。

(4) 避難所運営訓練の実施報告

小林校長：避難所運営訓練と引き渡し訓練を兼ねて行ったが、保護者の参加が少なかった。有事の際に、避難所運営で子どもたちに何ができるかを知るきっかけになってよかった。共助の場面で活躍してくれるのではないかなと思う。

・各自治会から報告

柳下委員：4・5・6・ルアンジュで協力できた。TVKでも放送された。

長井委員：体育館の中で子どもたちに説明できてよかった。時間が伸びてしまったのでもっとスムーズにやれたらよい。

小山内委員：物資班では忙しいときに書き写すことはできないと感じた。市のほうには改善をお願いした。来年は参加者が増えるように工夫していきたい。

・防犯モデル地区 親子パトロールについて

小林校長：タウンニュースのウェブ版に紹介された。参加者は保護者15名、子ども20名程度。ビブスデー、下校パトロールではビブスを着て子どもたちと関わっていただきたい。参加できそうな日に地域の安全を見守っていただきたいと思う。

(5) 50周年記念事業について

小林校長：実行委員会がこれまで2回開かれている。記念式典の後、誰もが参加できるような催しを行いたいと考えている。スローガン、マスコットキャラクターも決めている。記念誌についてどう内容を精査していくか。その他として児童会の取り組み、東柏学習交流会などを載せたいと考えている。第3回の実行委員会も6日に予定されている。また決まったことを皆様にお示しする。

佐々木教諭：学校のことだけでなく、学区のことも紹介するのはどうか。40周年から50周年にかけて変わったことを紹介するのはどうか。

奥田教頭：現在向かっている方向このまま進めていけたらよい。

三村総括教諭：できているものでよい。動画や音声などをQRコードで載せるのはどうか。

佐藤副委員長：行事などはできているものでよい。

國吉委員：開校時の図面や卒業生のコメント、地域で活躍している卒業生を紹介するのはどうか。

高橋委員：予算の面で寄付を考えるのはどうか。

(6) 学校いじめ防止基本方針について

・問題行動等調査と本校の対策

天野教諭：東柏ケ谷小学校でのいじめ認知件数は、R4年度39件、R5年度（7月）までで21件になっている。比較的多い数ではあるが、いじめの定義で照らし合わせて考えると、先生方が細やかな対応をしてくれているのでよいと捉えている。

チーム学校としての手立てをとることを大切にしている。年複数回アンケートを行い、いじめだけではない困り感を見つけるようにしている。ご家庭や地域でお気づきの点がありましたら学校の方にご連絡をお願いします。

(7) その他

・学級文庫への寄付依頼について

佐々木教諭：図書担当から資料を預かっている。自治会の掲示板等で周知していただきたい。回収期間は10月2日～10月16日までを予定している。ご協力よろしくをお願いします。

・えびなっ子スクール

佐々木教諭：日にちは11/1、2、9、10に決まった。プログラムについては決まり次第伝える。

・子育て交流会 9/27(水)

海野委員：柏ケ谷小学校を会場に行う。

・ビオトープ

柳下委員：各自治体から寄付していただいていたことができた。始業式にめだかの学校ができたことを伝えた。子どもたちが喜んでくれてよかった。

・12月の作品展について

三村総括教諭：昨年度は図工作品展にあわせて行っていたが、名称について、昨年度までは「P作品展」としてお知らせしていたが、今年度から「東柏ケ谷ふれあい作品展」に変更する。

(8) おわりに(学校運営協議会副委員長)

佐藤副委員長：9月もまだまだ暑い。次のときにはビブスを着てお会いできればと思う。お疲れ様でした。

次回の学校運営協議会は、令和5年11月29日(水)15:30から開催予定。